

令和2年5月13日  
鉄道局施設課環境対策室

## 第2回リニア中央新幹線静岡工区有識者会議の開催 及び同会議の公開のあり方について

リニア中央新幹線静岡工区について、これまで静岡県とJR東海との間で行われてきた議論等を科学的・工学的に検証し、その結果を踏まえて今後のJR東海の工事に対して具体的な助言、指導等を行っていくため、以下のとおり、「第2回リニア中央新幹線静岡工区有識者会議」を開催します。

また、同会議の公開のあり方については別添1のとおりです。

1. 日 時 : 令和2年5月15日(金) 18:00~20:00
2. 場 所 : 中央合同庁舎3号館11階 特別会議室 (WEB上で同時開催)
3. 議 事 : リニア中央新幹線静岡工区について
4. 構成員 : 別添2参照
5. 取材等(報道機関の方へ) :
  - ・ 会議は新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、WEB上での傍聴のみとさせていただきます。なお、希望される報道機関の方には会議冒頭の模様を撮影した写真等のデータをお渡します。
  - ・ また、会議終了後に同じ会場で、事務局、JR東海の順に記者ブリーフィングを行います(WEB上でも同時開催)。ただし、各社1名でご対応願います。参加を希望される報道機関の方で会場にお越しになれる場合は、国交省11階エレベーターホールに19:50までにお集まりください。  
開始時間 : 20:15目途開始

- ・ 会議冒頭の写真等データの送付、WEB傍聴、ブリーフィング参加を希望される報道機関の方は、14日(木)12:00までに以下のとおりメールにてご連絡ください。

件 名: 【取材希望】リニア中央新幹線静岡工区有識者会議

本 文: 氏名(ふりがな)、所属、連絡先(住所、電話番号、メールアドレス)、

- ① 写真等データの送付希望の有無
- ② 会議のWEB傍聴希望の有無
- ③ ブリーフィング参加(国交省会議室)希望の有無
- ④ ブリーフィング参加(WEB)希望の有無

※静岡県庁での傍聴を合わせて希望される場合は、その旨も記載願います。

送付先: hqt-rsjimukyoku★mlit.go.jp

※送信の際には上記の「★」記号を「@」に置き換えてください。

- ・ WEB上での傍聴やブリーフィングについては、通信状況によって、映像の乱れや一時的な停止があることをあらかじめご了承ください。なお、通信設備の都合により、1社につき1名(1回線)とさせていただきます。
- ・ WEB上での傍聴やブリーフィング参加を希望された報道機関の方には、会議開始前までに専用のURLをメールにて連絡します。なお、事前に接続確認を行わせていただくことがありますが、詳細はURLの送付と合わせて連絡します。
- ・ 会議及び記者ブリーフィング開始時間になってもWEB上でアクセスできない場合等には、至急事務局までご連絡ください。
- ・ 会議資料等については、国土交通省ホームページにて公開する予定です。  
(会議資料は会議開始前、議事録は後日、公表予定です。)  
[http://www.mlit.go.jp/tetudo/tetudo\\_tk9\\_000011.html](http://www.mlit.go.jp/tetudo/tetudo_tk9_000011.html)

※ 今般の新型コロナウイルスの状況を踏まえ、取材については各社1名とし、「手洗い」や「マスクの着用を含む咳エチケット」等の感染症予防対策にご協力をお願いいたします。また、風邪のような症状がある場合には、ご自身の体調を優先し、参加を控えていただきますようお願いいたします。

**【お問合わせ】**

国土交通省鉄道局施設課環境対策室 森・横山  
(リニア中央新幹線静岡工区有識者会議事務局)  
TEL 03-5253-8111(内線 40871,40863)  
直通 03-5253-8556 FAX 03-5253-1634

## リニア中央新幹線静岡工区有識者会議の公開のあり方について

## 1. これまでの経緯

- (1) 本会議については、本年 1 月 30 日に静岡県から示された「会議は全面公開で行うこと」との事項に対して、鉄道局は 3 月 6 日に県に対し「会議は原則として公開で行うこととする（報道関係者の傍聴可、カメラ撮りは会議冒頭に限る）」と回答した。
- (2) 一方、4 月 27 日の第 1 回会議は、新型コロナウイルス対応のため WEB 方式で開催し、一部の委員及びオブザーバー（静岡県、大井川流域市町、関係省庁）は WEB での参加、また報道関係者については WEB により視聴する形となった。また会議後には記者ブリーフィングを行い、会議の議事録は 5 月 12 日に公表した。
- (3) これに対して、4 月 30 日及び 5 月 12 日の静岡県知事定例会見において、知事より、全国の誰もがこの会議にアクセスできるようにすべき等のご発言があった。

## 2. 本会議の今後の対応について

- (1) 本会議は、これまで静岡県と JR 東海との間で行われてきた議論等を検証することを目的とし、特に大きな 2 つの論点について、科学的・工学的に議論する場と考えている。
- (2) そのためには、委員の方々からそれぞれの専門分野に基づき、ご自身のお考えを忌憚なく自由にご発言いただき、議論を深めるような落ち着いた環境を整備することを最優先とする必要がある。
- (3) 静岡県から求められている WEB による全国配信については、委員から、生配信後の各委員のご発言の取り扱い方等について懸念が示されており、そのような公開の仕方は、委員の忌憚のない自由な発言を阻害する要因になり得ると考えている。

また、事務局である国土交通省としても、委員個人への匿名者による非難・中傷等が発生するおそれ等は生じないようにするべきであると考えている。

- (4) 国土交通省としては、WEB による全国配信によらずとも、報道関係者の傍聴、会議後の記者ブリーフィング、議事録（※）の速やかな開示により、透明性を確保することで、会議の全面公開との要件は満たしているものと考えている。

なお、国土交通省が運営する審議会等においても、上述のような方法で透明性を確保することが通例である。

（※）議事録についても、上記の委員への配慮から委員名は伏せて公開している。

- (5) なお、第 1 回会議では、オブザーバーと報道関係者に限定して WEB 配信したところであるが、第 2 回からは水資源問題の直接的な関係者である利水団体（大井川利水関係協議会会員）の方々を配信先に追加したい。

以上

# リニア中央新幹線静岡工区 有識者会議 構成員名簿

(順不同、敬称略)

## 【座長】

ふくおか しょうじ  
福岡 捷二 中央大学研究開発機構 機構教授  
－ (専門分野) 河川工学、水災害工学

## 【委員】

おき たいかん  
沖 大幹 東京大学 総長特別参与・教授

－ (専門分野) 水文学、水資源工学

※ 水循環施策の推進に関する有識者会議座長、水循環基本法フォローアップ委員会座長

とくなが ともちか  
徳永 朋祥 東京大学 教授

－ (専門分野) 地下水学、地圏環境学

※ 水循環基本法フォローアップ委員会委員、日本地下水学会会長

にしむら かずお  
西村 和夫 東京都立大学 理事・学長特任補佐

－ (専門分野) トンネル工学、地盤工学

だいとう けんじ  
大東 憲二 大同大学 教授

－ (専門分野) 環境地盤工学

もりした ゆういち  
森下 祐一 静岡大学 客員教授

(静岡県専門部会より)

－ (専門分野) 地球環境科学

まるい あつなお  
丸井 敦尚 国立研究開発法人産業技術総合研究所

地質調査総合センタープロジェクトリーダー

(静岡県専門部会より)

－ (専門分野) 地下水学

## 【オブザーバー】

静岡県、大井川流域市町、

関係省庁(文部科学省、厚生労働省、農林水産省、経済産業省、環境省)

※建制順

## 【説明責任者】

J R 東海

## 【事務局】

国土交通省鉄道局